

# 【実践事例（14）】

（涌谷高等学校）

## 被災地訪問等の防災教育を生かして地域防災の担い手育成につなげる取組

教育課程に、「当事者意識（他人事ではなく、「自分事」として考える）」をテーマとした防災教育を位置付け、将来の地域防災の担い手育成につなげている。

### 防災教育の内容

時数	教科等	学年	内容
6 （事前学習）	学校行事	1・3	<p><b>【被災地訪問学習】</b></p> <p>○石巻市震災遺構大川小学校 講師：大川伝承の会代表、遺族講師から、震災当時の状況や震災の教訓について話を聞き、災害から命を守るために必要なことは何かを学んだ。</p> 
1	総合的な探究の時間	1・2	<p><b>【地域の災害特性を踏まえた防災対策を考える】</b></p> <p>○災害図上訓練（DIG） 講師：防災士（涌谷町） 町の過去の災害やハザードマップ等を踏まえ、白地図にかき込みをしながら、地域住民とともに町の災害特性について理解を深めた。</p>  <p>※白地図：国土地理院 HP よりダウンロード</p>
2	総合的な探究の時間	全校	<p><b>【大雨から命を守る対応を考える】</b></p> <p>○防災タイムラインの作成 風水害・土砂災害発災時に「いつ」「だれが」「何をするのか」当事者として命を守る行動を考え、事前の避難行動計画を作成した。 ※「県防災指導員」に認定された生徒がアドバイザーとして参加</p> 
	部活動中	全校	<p><b>【生徒のアイデアを取り入れた避難訓練の実施】</b></p> <p>○放課後（部活動）の活動中の地震発生を想定 教員が不在時に、大きな地震が発生したとき、どのように避難行動をとればよいかを学んだ。</p> 
	課外活動	有志	<p><b>【涌谷町総合防災訓練への参加】</b></p> <p>○「県防災指導員」に認定された生徒などの有志 35 名が、町の総合防災訓練に参加し、地域住民とともに災害時の対応を確認した。 参加した高校生は、受付や避難者誘導など、高校生でもできることに積極的に取り組んだ。</p>